



▼地域に快適な住まいの提供を目指す「家のことならなんでん隊」の皆さん



## 快適な住まいを提供します

甲佐町商工会「家のことならなんでん隊」発足

4月26日(土) 甲佐町商工会員企業による「家のことならなんでん隊」が設立されました。

同隊(杉本代隊長)は、甲佐町商工会が中心となって行う事業の一環である「商工会共同受注事業」として発足。町内業者が受注することで地域の安全・安心を守り、地域雇用の促進および町税増収で地域貢献につながる活動として、町内の住宅関連サービスを提供する19企業が参加しています。

住宅の新築、リフォームなどの工事について地域住民の生活を支援し、快適な住まいを提供するという目的で、名前のとおり住まいに関する相談や工事など「なんでも」対応します。

ご利用希望の場合は、同隊事務局(甲佐町商工会内)へお問い合わせください。内容に応じて登録企業が対応します。

▼お問い合わせ

甲佐町商工会・家  
隊事務局・096  
234・0272

## 緑川で大きく育てね

甲佐小4年生が緑川で稚アユを放流

4月24日(木) 中甲橋グリーンパークで、甲佐小学校(清村勢津子校長179人)の4年生27人が稚アユの放流を体験しました。

サントリー九州熊本工場(嘉島町)が、環境保全の一環として毎年実施。緑川漁業協同組合(山口照雄組合長)の指導の下、バケツに分けた約150<sup>キ</sup>、16,000匹の稚アユを放流しました。

放流を体験した児童たちは「緑川で、元気に大きくなってほしい」「小さいアユを初めて見た、かわいい」と話しました。



▲バケツに分けた稚アユを緑川に放流する甲佐小4年生



◀回収したごみを再度分別する甲佐中学生たち

## きれいな緑川を守ろう

「緑川の日2014」一斉清掃活動

4月29日(火) 緑川流域などで、「緑川の日2014」一斉清掃作業が行われました。緑川などの自然環境の保全に関して、住民や企業、行政機関などが連携して取り組むことを目的として、同実行委員会(志免安喜委員長)が主催。約2,000人が参加して、ごみ拾いや清掃作業に取り組みました。早朝から緑川流域などで行われた清掃活動で回収した空き缶・空き瓶、不法投棄されたごみは中甲橋グリーンパークに集められ、甲佐中学校(加藤敬之校長257人)や甲佐高等学校(蔵田勇治校長149人)の生徒らが再度分別。町全体で、約2,680<sup>キ</sup>を回収しました。